

魅力ある特別活動にしていこう！

例年、このような活動をしています！！

- 特別活動を学び合おうⅠ・Ⅱ
 - 学級活動実技研修会
 - 名古屋市特別活動研究協議会
 - 愛生研の例会（月1回）
- アイスブレイクや話し合い活動の学習など
 模擬学級会を通した学習会
 実践者による実践発表
 実践発表や体験記録などの学習会

こちらも参考に！！

「みんなで、よりよい学級・学校生活をつくる特別活動【小学校編】」

学級会の進め方や係活動など、特別活動のことが分かりやすく載っています！
 「国立教育政策研究所 特別活動」と検索してください。



子ども一人一人の思いや願いを尊重する



名古屋市特別活動研究会委員長
 吉兼 貴子

「ナゴヤ学びのコンパス」が本格的にスタートしました。「学びのコンパス」には「子ども一人一人の思いや願いを尊重する」とあります。皆さんはこの言葉をどう受け止められましたか。

近年、不登校の子どもが増加、コミュニケーション上でのトラブルの多発など、指導に行き詰まりを感じる日もあるかと思えます。しかし、私はそのたびに冒頭の言葉を思い出すのです。寂しさ、不安、悔しさなどの気持ちを抱えながらも、子どもは「よりよくなりたい」「貢献したい」という気持ちをもっている、そしてこの子たちが未来の社会を支える大切な人材であると信じて、応援していくことが教師として大事なのだと思っています。

私たちの研究会では、こうした子どもの思いや願いを尊重し、実現させることができるアイデアを、様々な学習会を通して学んでいます。今年度は3回の学習会を開き、のべ200人以上の方にご参加いただきました。特別活動は「学びのコンパス」を体現したものであるとも思っております。来年度も学習会が開かれる予定です。学級づくりのヒントも学べます。一緒に特別活動を学び、未来の社会を支える子どもを育てていきましょう。

特別活動を学び合おうⅡ 2024.10.11 「学級会」基本講座～模擬学級会でお悩み解決～

計画委員の進め方

学級会の「準備」や「進行」を仕事とする計画委員の進め方について、4つのポイントの説明がありました。

- ① 議題案の選び方
（学級で取り組むことや学級としての課題を取り上げるとよい！）
- ② 活動計画の作り方
（役割分担・提案理由の確認・条件確認・話し合う内容を決定する）
- ③ 集会活動までのスケジュールの例
（集会活動までの見通しをもつ・案の精選を行う）
- ④ 学級会ノートの例
（話し合いに向けて、自分の案を考えやすくする）



【計画委員についての説明】



【計画委員になり案の精選を体験】

一人一人が活躍できる学級会にするためのポイント

実際に使っている掲示物や板書の様子を示したり、学級会の場面ごとのポイントを説明したりしました。

出し合う場面のポイント

自分の考えをもってスタート・アイデアは出し尽くす・事前に意見集約

くらべ合う場面のポイント

案に対する共通理解・教師の声掛けで案を深める・板書で話し合いを可視化・ハンドサインで全員参加・停滞したらペアやグループで話す

まとめる場面のポイント

みんなで、みんなが納得できる案を意識・多数決以外の合意形成

ふりかえり・まとめる場面のポイント

決まったことを大切に、良かった姿の価値付け・次への意欲付け

模擬学級会

集会活動の実施に向けて「1年生も6年生も楽しめる遊びを考えよう」をめぐって、模擬学級会を行いました。参加者は実際に児童になったつもりで発言をして、活発な話し合いが行われました。また、話し合いの途中で講師が声掛けを実演し、学級会における支援の方法が示されました。



名古屋市特別活動研究協議会 2025.1.29★協議会のレポートは、「なごやとっかつ」HP → 「研究会紹介」下(もしくは右)の「会員専用」(ユーザー名:7go8tk パスワード:7581052)ぜひ、ご覧ください！★

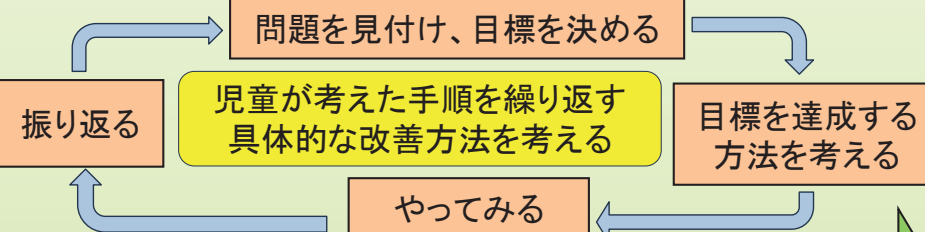
【実践1】内山小学校 森 貴政 先生 対象:小学4年生

【ねがい】自分たちで考えて行動し、学級をよりよくしようとする児童の育成

【手立て①】学級目標を達成するための、「学級アップデートサイクル」の活用

学級をよりよくするって
 どういうこと？
 学級は、このまま
 でいいよね……

主体的ではない児童



第1次実践「他学年の手本ウィークをやってみよう！」
 第2次実践「心あ(ここあ)ウィークをやってみよう！」

【手立て②】児童が貢献感を得るための、振り返り活動における工夫

- 個人の活動の成果を可視化
- 集団の活動の成果を可視化
- 互いの活動の成果を認め合い感謝し合う場の設定

児童が貢献感
 を実感

学級をよりよくするために、
 次はこうしよう！
 学級をもっとよりよくして
 いきたい！

集団をよりよくしようとするなど、
 社会参画への意欲をもつ児童

【実践2】吹上小学校 佐竹 佑斗 先生 対象:小学5年生

【ねがい】自分軸(自分の大切にしていること)に基づいて目標を設定し行動することができる児童の育成

自分軸に基づいて目標を設定し
 行動することができる児童

